

学生総数約750名。うち150名ほどが留学生



国際教養大学学長のお話

就職率100%。トップ企業が注目する大学

秋田市郊外にある公立大学法人国際教養大学(AIU)。開学は'04年4月と最近ながら、入試難易度は旧帝大クラス以上。就職率は100%。しかも、その多くが国内外のトップ企業。全国の教育企業関係者の間で最も注目されている大学のひとつだ。中嶋氏と秋田との出会いは、今から10年以上前のこと。秋田県が誘致したミネソタ州立大学機構秋田校の閉校にともない、新たな可能性を探るための打診を受けたのがきっかけだ。



国際教養大学学長 中嶋 嶺雄さん

<プロフィール>
1936年 長野県松本市生まれ
国際教養大学理事・学長、東京外国語大学中部科学部、皇大大学院社会学研究科修了。社会学博士。専攻は国際社会学・現代中国学。オーストラリア国立大学、カリフォルニア大学の客員教授などを歴任。東京外国語大学学長、文部科学省中央教育審議会委員を経て'04年現職に就任。

中嶋氏の近著「全球」教育論。AIU開学につながる氏の基本姿勢が綴られている(1500円/西村書店)

「自らの理想を実現できる」ことを条件に参画。'00年4月、国際系大学(学部)検討委員会発足とともに委員長に就任。引き続き'02年3月に発足した国際系大学(仮称)設立準備委員会でも委員長を務め、開学に向けての準備を進めることとなる。

強力なリーダーシップで大学を運営

中嶋氏が目指したのは「世界で

活躍できる国際教養人を育成する大学」国際基準の大学だ。「世界における日本の地位の低下は(国際共通語でもある)英語力のなさに起因する。英語教育は国際戦「略」の考えから、学内すべての授業、会議を英語で実施。学生は1年間の留学(提携大学は世界31カ国108大学/'10年5月現在)が義務付けられている。1年生は全寮制。ルームメイトは留学生が原則ゆえ、居ながらにして語学力の



秋田杉が特徴の図書館は24時間開館している



授業は教養科目が中心。1クラス15名程度の少人数制を導入する

アップ、異文化交流を図ることができる。入試スタイルも多様だ。合格点には満たないものの、秀でた科目があるなどの学生を暫定的に入学させ、一年間の成績次第で正式に入学を許可する「暫定入学」も採用。まさに、いままでの日本にない大学。それを実現するために、学長が理事長を兼務することで、強いリーダーシップを発揮できるようにし、敏速で柔軟な大学運営を可能とした。当初は準備段階だけの参画の予定だったが、周囲の強い声に推され開学とともに学長に就任。「非常に緊張感がありますが、とてもやりがいがあります」と中嶋氏。数多くの関係者が携わり開学したAIUだが、その根幹にあるものは中嶋氏の信念と熱意そのものと言っても過言ではない。



秋田市中部から車で約30分。キャンパスは秋田県中央運動公園、秋田空港に隣接(左)

学内には寮、アパートも併設する(右)

秋田の心を醸す、蔵元通信

蔵

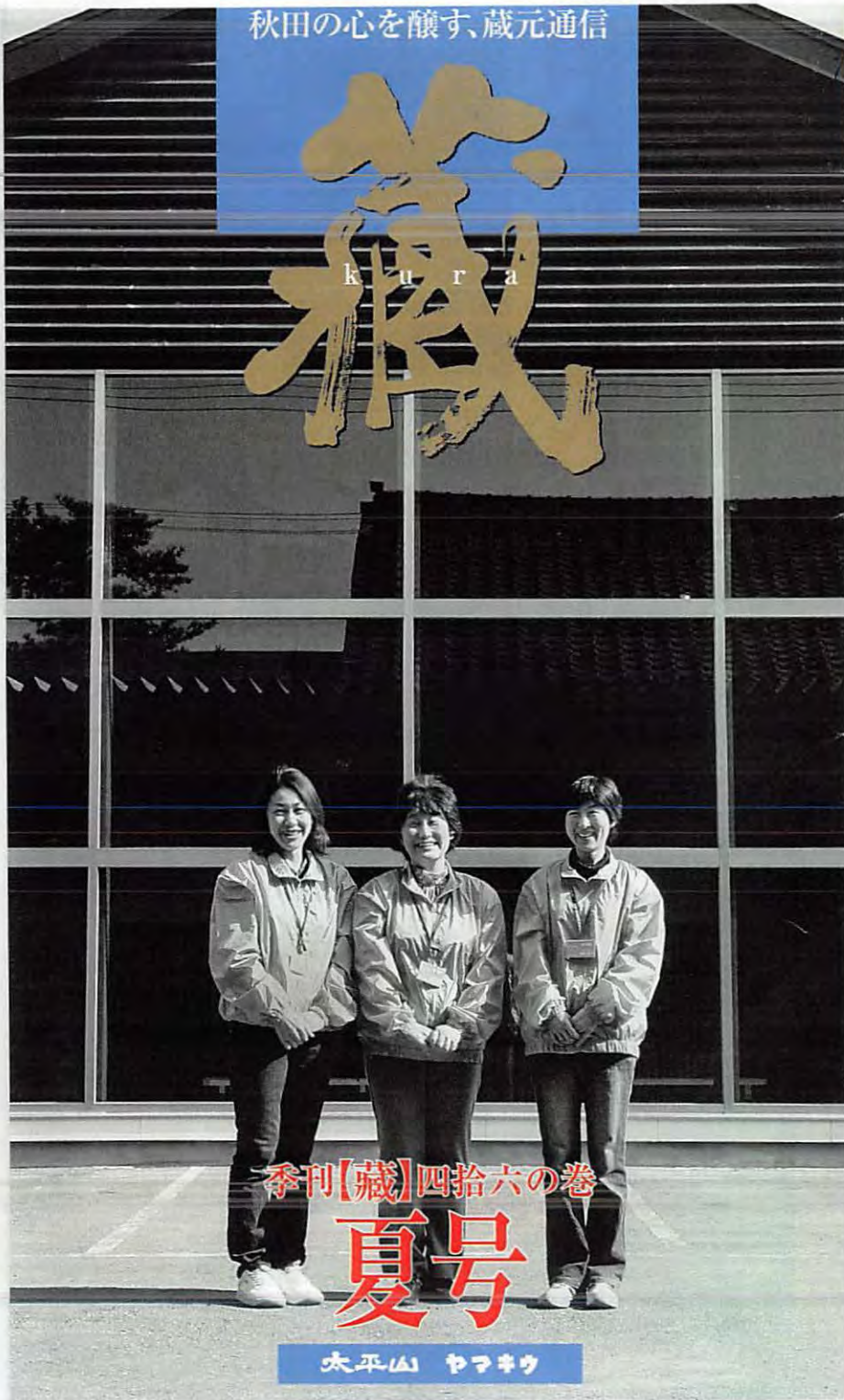
k u r a

蔵

Vol.46

2010.夏

企画・発行／小玉醸造株式会社 ●秋田県湯上市飯田川飯家字飯家三郎の一 ●TEL:018-1504 ●TEL:018-877-2100 FAX:018-877-2104
発行人／小玉眞一郎 編集／凸版印刷株式会社 東日本事業部 デザイン／有株式会社 オフ 写真／佐藤勝彦 取材・文／海老名エイトリアル事務所



季刊【蔵】四拾六の巻

夏号

大平山 やまきり

故郷 点描

秋田の四季 — 湯沢市

爽快、豪快、野趣あふれる自然の温泉
落差20m。滝壺がそのまま湯船になった
川原毛大湯滝



秋田、岩手、宮城の県境に位置する栗駒山の麓は温泉の宝庫。その中でも最も個性豊かな温泉が「川原毛大湯滝」です。その名のごとく、滝そのものが温泉という日本最大級の湯滝。上流1km、川原毛地獄付近で湧出する温泉が沢水と合流。川となって流れ、約20mの高さからダイナミックに流れ落ちてきます。滝つぼや溪流はすべて天然の露天風呂になっており入浴無料。入浴適期は7月上旬から9月中旬。入浴時は水着着用が原則で近くには更衣室があります。滝までは最寄りの駐車場から徒歩約15分。豪快で爽快。まさに野趣あふれる入浴を楽しむことができます。なお、岩手宮城内陸地震の影響で通行止めだった国道342号が5月30日に全線開通。東北道一関ICから栗駒山、秋田方面のアクセスが格段に良くなりました。

湯沢市まるごと売る課 観光企画推進班 TEL.0183-73-2111